

KANA GAWA ARTS PRESSES

10&11 2014

神奈川芸術プレス Vol.120

CREATOR'S
VOICE 139

大野 和士

CREATOR'S VOICE 139

大野 和士

神奈川県立音楽堂 還暦！記念週間に登場

地形が語る地球史散歩 ～神奈川編～ 横須賀・三浦エリア

もっと、近くに。～全演目制覇オススメ！秋「華麗なるバレエ、ダンスの競演」～

表紙撮影：福里幸夫

奇数月15日発行【隔月刊】

子どものときから、

紅葉坂が上がっていくとドキドキしました。

ミュージズに会えるような気がして。



音楽堂育ち

——県立音楽堂の今年60歳で、大野さんは54歳。たくさん
の思い出がありそうですね。その舞台上で初めて指揮を
したのはいつでしたか？

小学校6年生のとき。「横浜国立小学校児童音楽会」と
いう、器楽合奏の発表会があったんです。たまたま先生
が転校になり、「あなたが指揮をやりなさい」と言われて、
音楽堂の指揮台に立つことになりました。半ズボンでね。
隣の学校の子に「キザ、キザ！」って言われた。それが、わた
しの指揮のはじまりです。4年生のときは、アコーディオン
を弾いて合奏で出ていました。ですから、わたしにとって、
音楽堂はたいへん思い出深い、源のような場所ですね。

——最初に音楽堂の客席に座ったときのことも覚えてい
ますか？

初めて行ったのは10歳のとき、横浜交響楽団の演奏会
かな。その頃は、葉書で無料の整理券を申し込める演奏
会がいくつもあったので、ずいぶん聴きに行きましたよ。
巖本真理さんや安川加寿子さんには、楽屋口でサインも
もらいました。隣の青少年センターで、若き日の若杉弘
さんが読売日響を指揮したベートーヴェンの《エロイカ》
も聴きました。だから、紅葉坂が上がっていくとドキドキ
する。なにかしらミュージズに会えるというかね。

——その後も、音楽、そして指揮への情熱は高まっていく
ばかりだったのですよね？

中学の吹奏楽の演奏会や文化祭、高校の合唱部でも指揮
をしました。合唱部は当初24人くらいでしたが、部員勧誘に

命を賭けて、2年生のときには60人になった。その年に、弦
楽部の人たちといっしょに、ヘンデルの「メサイア」の一部
を青少年センターでやりました。それから、1930年代のシ
カゴみたいな感じで暗躍をして(笑)、なんと90人の、いちば
ん大きなクラブになったんですよ！上岡敏之君がピアノを弾
いてくれて、プラスバンドを少し入れて、ショスタコーヴィチ
の《森の歌》全曲を高校の体育館で指揮しました。自主製作で
レコードにもして。それが高校3年生のときですね。そのへ
んから専門家になることを、最終的に自分のなかで決めて。

プロフェッショナルとしての帰還

——そして、プロフェッショナルの指揮者として音楽堂に
帰ってきます。

1988年に都響の指揮者として、フランスから4人の
サクソフーン奏者を招いた「コンチェルトの夕べ」が、
プロとして初めての機会でした。そして、「オペラ・レク
チャーコンサート」を音楽堂で始めたのが1999年。その
前に県民ホールの小ホールで初回をやったとき、初老の
ご夫婦がお書きになられたアンケートに、「恥ずかしなが
ら」という一文がありましてね、「音楽を聴くことにあまり
にも長くブランクがあったために、なにかから手をつけてい
いかわからない。ですので、解説付きのコンサートはたい
へんためになりました」と。それを讀んだときに、たいへ
ん悲しい思いに駆られました。わたしの父や母と同じ世代
で、高度経済成長期を支えてくれた方々です。その労に報
いてこそはじめて音楽をやる意味があるにも関わらず、実
は届いていないのではないかと。それでは本末転倒だと

思ったのです。それが、シリーズ化して続けていこう、と
決意するきっかけになりました。

——それがもう、この秋で15年もの取り組みになるわけ
ですね。

毎回テーマは違いますし、だんだん導入篇ではなくなっ
てきている(笑)。作品をまだ聴いたことがない人、これ
からプロで歌っていこうという方たちの興味を惹くように。
そして、声楽家たちにも新しい発見があるように。自分自
身も楽しみながら続けています。音楽がもつ、人間の感情
を呼び覚ます法則みたいなものをやさしく、おもしろ
おかしく解説して。この11月は、モーツァルトの《魔笛》と
ベートーヴェンの《フィデリオ》を組み合わせて、重唱の構
造や調性を吟味していきます。

——音楽堂で育った大野さんがいま、初老の方々から若い
音楽志望者まで、幅広い年代が音楽を愛するための関係を
積極的につくられている。その循環が素晴らしいですね。

いろいろなところで、循環しているという感じはあり
ます。先日、バルセロナ交響楽団の記者会見で、カザルス
がカタルーニャ民謡の《鳥の歌》を弾く前に話した「ピース、
ピース」というのをやったんですよ。子どもの頃にNHK
テレビで見たのが鮮烈だったので。それが、現地で思っ
てもみないような感動を呼びましてね。わたしにしてみれば、
それもまた、ついこの間のように思う、紅葉坂が上がって
行った自分と、カタルーニャで音楽監督の記者会見をして
いる自分との接点です。

音楽と劇場が社会をつくる

神奈川県立音楽堂 還暦!記念週間

大野和士のオペラ・レクチャーコンサート

11月4日(火) 18:30開演

神奈川県立音楽堂

レクチャーとピアノ:大野和士

出演歌手:林正子(ソプラノ)、及川尚志(テノール)、
河野克典(バリトン) ほかプログラム:モーツァルト「魔笛」、ベートーヴェン「フィデリオ」より
アリアや重唱

全席指定 一般4,000円 学生(24歳以下/枚数限定)2,000円

※本公演は還暦特別バスの対象公演です。

インターネット予約(24時間対応)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ ☎0570-015-415(10時~18時)

神奈川県立音楽堂 還暦!記念週間に登場

横浜で少年時代を送った大野和士にとって、神奈川県立音楽堂は帰ってくる場所である。

小学生時代からの特別な愛着がある木のホールで、

世界を魅了する指揮者となった彼が15年近く続けているのが、オペラのレクチャーコンサート。

ピアノを弾き、ときに歌いながら、声楽家たちとともに作品の魅力を柔らかくひも解く。

人間の音楽が、愉しく故郷に満ちていく。

——大野さんが音楽監督を務めるフランスのリヨン劇場では、子どもへのアプローチはもちろん、病院や刑務所を訪れての演奏なども精力的に行っていますね。

ヨーロッパでは、移民の人たちを市民社会のなかに調和させるために、音楽文化がたいへん寄与しています。リヨンのオペラハウスの前に市庁舎があるのは象徴的ですね。日曜になると小ホールでアラブ音楽やオリエンタル・ミュージックの夕べなど、無料のコンサートをやっています。それを聴きにきたうちの何割か何パーセントの人たちがちょっとカーテンを開けてみたら、そこでモーツァルトをやっている。そうした過程を経て、たとえばドイツでは第三世代のトルコ人の文部大臣が生まれましたが、音楽は社会に貢献できるのです。

——音楽堂はちょうど60周年で、聴衆も3世代に及びます。今後、日本のホールにはどのような展開が必要だと思われますか？

さらにコミュニティに根差したありかたがより深く研究されるべきではないかと思うことはあります。文化政策はピンポイントではできないもので、世代をまたいで長く続けていくことに意味がある。コンサートやホールの可能性を汲みつくした出しものを不特定多数の市民に開放し、その一方で彼らを担い手として創る側に取り込む工夫も必要でしょう。

——では、音楽堂のとくに好きなおところは？

人肌の音というか、とてもやさしく、包んでくれる響きがある。たとえば歌手の声も、自然にうまくブレンドされて客席に届きますね。

——そういう音の質感をもつ空間で育った経験は、大野さんがいま、内外のさまざまホールで指揮されるなかでも、

やはりどこか原点としてありますか。

木に囲まれているから、いぶし銀のような茶の、落ち着いた深い色によって、翳の部分が自然と意識されます。それは、音を創る側にとっては、たいへん良いことだと思います。イメージを自分のなかで創り上げていくうえで、なんとも言えない雰囲気、適度の翳りがね。将来的には、レクチャーコンサートでやったことをやはりオペラで実演したい。

わたしの神奈川

わたしが小さかった頃は、横浜は人口200万突破と言っていて、上りゆく経済とともにどこまで発展を遂げるのか、と思わせるほどの勢いがあつた街だったと思います。大きな山があり、森がいっぱいあって、ウサギはもちろん、人生で初めてイタチをみましたよ。イタチがこつちをみるんです。いや、捕まえたかったな(笑)。そういう山が瞬間に造成で崩され、人口が増えていく。その時期に、わたしは小学生や中学生でしたが、青少年センターの分館に行くと、大きなステレオとスピーカーがあって、紙に書いてリクエストすると、パツハのフーガとか、聴きたい曲をかけてくれたんです。贅沢ですよ。バスで30、40分かけてよく行っていました。そうしてたくさんレコードを聴いたり、中学校の音楽室から譜面を拝借したことがいまも焼きついています。そういう意味では、幸せだったと思いますね。

久しぶりに行ってみたいのは、こどもの国。小学3年で横浜にきて、最初の遠足の場所だったから。その次は、氷川丸のところ。お弁当を食べた。海苔巻がおいしかった(笑)。

取材・文:青澤隆明/撮影:福里幸夫

指揮者 大野和士



おおの かずし

2008年9月よりフランス国立リヨン歌劇場首席指揮者。本年6月27日から7月9日にかけて同歌劇場とオーケストラおよびオペラ「ホフマン物語」公演で来日公演を行い、大きな話題となった。東京藝術大学卒。バイエルン州立歌劇場にてサヴァリッシュ、パタネーの両氏に師事。1987年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。これまでにザグレブ・フィル音楽監督、バーデン州立歌劇場音楽総監督、ベルギー王立歌劇場音楽監督を歴任。2012/13シーズンよりイタリアのアルトゥーロ・トスカニーニ・フィル首席客演指揮者。15年4月から東京都交響楽団音楽監督、同年9月からバルセロナ交響楽団音楽監督に就任予定。オペラでは、07年6月にミラノ・スカラ座デビュー。その後、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ等の出演などが相次いでいる。コンサートでは、ロンドン響、ボストン響、フランス放送フィルなど客演多数。渡邊暁雄音楽基金音楽賞、芸術選奨文部大臣新人賞、出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、エクソンモービル音楽賞、サントリー音楽賞、日本芸術院賞ならびに恩賜賞など受賞多数。紫綬褒章受章。文化功勞者。

4公演のうちの3公演は、音楽堂オリジナル企画で、過去にも実施してきた名物公演。最後はにぎやかにフル・オーケストラによる演奏会で、祝祭は頂点に達する。

“祈り”で始まる「還暦! 記念週間」

11月3日は「音楽堂で聴く聲明 四箇法要—花びらは散っても花は散らない」。

仏教の儀式の中で僧侶たちが伝えてきた声楽である聲明^{しょうみょう}を、コンサートホール公演として成立させたこのシリーズは、リピート客が多い。現代聲明の作品も取り上げ、客席へも歩き唱える僧侶たちの声の力は圧倒的。響き渡る倍音でホールは異次元の世界になり、これまで経験したことのない音空間に陶然としてしまう。それは僧侶たちが祈りの言葉を唱えているからなのだろう。戦争が終わってから後の60年間の年月の重み。特に東日本大震災を忘れない、という思いを込めて「還暦! 記念週間」は“祈り”でスタートする。

続く4日には世界を飛び回るマエストロ、大野和士による3年ぶりの「オペラ・レクチャーコンサート」。この公演も病みつきになるおもしろさで、オペラ鑑賞のツボが自然と身につくシリーズだ。

5日は、これまでに6回開催された「音楽堂建築見学会」シリーズの「特別編」。建築家、前川國男が設計した県立音楽堂を、探検気分で見学できる。人気の秘密は、見学後に行われる建築家のレクチャーとミニ・コンサートの魅力によるところが大きい。レクチャーでのトークが抜群に楽しく、建築の知識がなくても大丈夫。仲道郁代のミニ・コンサートも普通のコンサートにはない工夫が凝らされる。

音楽堂でフル・オーケストラ!

フィナーレは、9日に行われるオーケストラ・コンサートだ。プログラムが奮っている。武満徹、ドビュッシーの作品の他、作曲活動60周年を迎える芸術総監督・一柳慧の『マリンバ協奏曲』、そしてストラヴィンスキーの『火の鳥』を取り上げる。出演者はみな神奈川にゆかりのある気鋭の演奏家、そして神奈川フィルハーモニー管弦楽団。力強く新たな歴史を作りはじめる意志を感じる、象徴的なメモリアル・コンサートとなるだろう。

文: 結城美穂子



モダニズム建築の特徴的なプロポーションを表す正面



亀倉雄策の作とも伝えられる「音楽堂」の個性的な外壁文字



前川國男建築の特徴でもある外光をふんだんに取り入れたホワイエ



独特の響きのよさが「東洋一の木のホール」と愛されるホール
建築写真(正面除く) Photo:青柳聡

神奈川県立音楽堂「還暦! 記念週間」

開催日	公演名
11月3日(月・祝)	音楽堂で聴く聲明 出演: 声明の会・千年の聲 (天台・真言両宗の僧侶たち) 古典聲明(唄・散華・梵音・錫杖他)、 宮内康乃/海霧讃歎(うみぎりさんだん)
11月4日(火)	大野和士の オペラ・レクチャーコンサート 出演: 大野和士(レクチャーとピアノ)、 林正子(ソプラノ)、及川尚志(テノール)、 河野克典(バリトン) 他 「魔笛」「フィデリオ」よりアリアや重唱
11月5日(水)	音楽堂建築見学会特別編 出演: 藤森照信(建築史家)、 内藤廣(建築家)、松隈洋(建築史家) 仲道郁代(ピアノ) 他
11月9日(日)	60周年記念オーケストラ・コンサート 指揮: 篠崎靖男 管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ソリスト: 宮田まゆみ(笙)、 加藤訓子(マリンバ) 武満徹/セレモニアルー秋の頌歌 一柳慧/マリンバ協奏曲 ストラヴィンスキー/火の鳥 他
11月22日(土)	ナタリー・シュトゥッツマン コントラルト・リサイタル ピアノ: インゲル・ゼーデルグレン ショーソン/ナニー ドビュッシー/海はもっと美しい フォーレ/月の光、夢のあとで プーランク/「月並み」から 他



音楽堂で聴く聲明

Photo:青柳聡



篠崎靖男

©Benjamin Ealovega



加藤訓子

©michiyuki ohba



宮田まゆみ



藤森輝信



仲道郁代

©Kiyotaka Saito



ナタリー・シュトゥッツマン

©Simon Fowler

神奈川県立音楽堂「還暦! 記念週間」

1954(昭和29)年11月4日にオープンした神奈川県立音楽堂が、今年で60周年を迎える。

11月3日から9日までを「還暦! 記念週間」とし、ミニ・フェスティバルを開催!

歴史を感じるとともに明るい未来への思いを込め、魅力的な4公演が予定されている。

抜群の企画力で工夫の凝らされた公演をご紹介します。

インターネット予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ ☎0570-015-415(10時~18時)



地形が語る地球史散歩～神奈川編～

横須賀・三浦エリア



城ヶ島海岸：関東地震で隆起した岩場から過去の隆起をみる(右手に馬の背洞門)

(地質学者) 神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館長
監修：斎藤靖二

巨大地震による地盤の隆起を体感できる島
神奈川県最大の島が三浦半島の城ヶ島です。この県最南端の島の自然を多くの人が愛し、大正時代の北原白秋による「城ヶ島の雨」で全国的に有名になりました。火山噴出物の地層が露出する岩場は、1923年の関東地震で海岸が約1.5m隆起して海面上に出たものです。それ以前には馬の背洞門を小舟が通っていました。陸側の緩斜面は沼面という数千年前に隆起したところで、崖の上は高さ30mの三崎面という約3万年前の地形面です。これらも巨大地震の隆起でできたと考えられ、平均すると千年に1mほど地盤が隆起したことになります。とすると、1mも隆起させるような巨大地震は、めったに起こらないと言えます。

1 横須賀美術館

「おいしいアート 食と美術の出会い」を開催中(～11月3日(月・祝))。西洋の伝統的絵画から日本の現代アートまで、食をめぐる多彩な表現を紹介します。開館時間：10:00～18:00 休館日：10月6日(月) 観覧料：一般900円、高大生・65歳以上700円、中学生以下および市内在住または在学の高校生は無料。11月3日(文化の日)は無料。お問合せ：☎046-845-1211



上田薫(サラダB)(2007)個人展

2 横須賀芸術劇場 20周年

「みろくのみりよくシリーズ」と題し彌勒忠史氏の企画・演出による公演を連続上演！
9月28日(日) 16:00 オペラ宅配便シリーズⅩⅢ
メノッティ：歌劇「泥棒とオールドミス」(全1幕・原語上演・字幕付) S4,700円 A3,700円
10月19日(日) 14:00 なんでもあーりーミュージック
パロックとジャズのマリアージュ S3,600円 A2,600円
お問合せ：☎046-823-999



3 逗子アートフェスティバル 2014

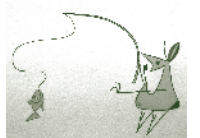
9月20日(土)～11月24日(月・休) 市民主体の文化の祭典を開催!! 山重徹夫氏のディレクションによる作品を展開した「逗子アートサイト一語り始める都市」や毎年好評の「プロジェクションマッピング・ショー」をはじめ、「逗子市文化祭」、「オーケストラ連携コンサート～光と音が奏でる風景～」など、多彩な企画が逗子市内各所で行われます。



http://zushi-art.com/ お問合せ：☎046-873-1111(内線：7841) ZAF 2014

4 神奈川県立近代美術館 葉山

9月27日(土)～2015年1月12日(月・祝)「東欧アニメをめぐる旅」
チェコ、クロアチア、ポーランドのアニメーション作品を紹介。
開館：9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始 観覧料：一般1,000円、20歳未満・学生850円、65歳以上500円、高校生100円
お問合せ：☎046-875-2800



トウシャン・ワイコチ監督「エアザツ」(代用品) (1961年、クロアチア、第34回アカデミー賞短編アニメーション賞受賞)のセル画

その他の県内文化情報

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

第303回定期演奏会

10月24日(金) 19:00開演 会場：横浜みなとみらいホール
湯浅卓雄(指揮)
石田泰尚(ヴァイオリン/ソロ・コンサートマスター)
エルガー / 弦楽セレナーデ 小短調
コルンゴルト / ヴァイオリン協奏曲 二長調
エルガー / 交響曲第3番 短調(アンソニー・ペイン補筆完成版)
S席6,000円 A席4,500円 B席3,000円
ユース券(25歳以下 当日のみ)1,000円
お問合せ：神奈川フィル・チケットサービス
☎045-226-5107(平日10:00～18:00)
http://www.kanaphil.or.jp/



湯浅卓雄

県立神奈川近代文学館

特別展 「須賀敦子の世界展」

現代イタリア文学の翻訳家で、エッセイストとしても多くの愛読者を持つ須賀敦子(1929～1998)の生涯と作品を紹介。
10月26日(日)は「文字・活字文化の日」記念行事として観覧料無料、ギャラリートーク、バックヤードツアー、抽選によるプレゼント。
10月4日(土)～11月24日(月・休)
※月曜休館(10/13、11/3、24は開館)
一般600円 65歳以上・20歳未満・学生300円
高校生100円 中学生以下無料
神奈川県横浜市中央区山手町110
(みなとみらい線「元町・中華街駅」6番出口徒歩10分)
☎045-622-6666 http://www.kanabun.or.jp/



神奈川県民局くらし県民部文化課

カナガワ リ・古典プロジェクト2014 江ノ島 江の島まうで 舞をどり

多彩な踊りと音楽を通して、文化遺産を持つ新たな魅力を体感。
10月4日(土) 16:30開演 江の島シーキャンドルサンセットテラス(藤沢市江の島2-3 江の島サムエル・コッキング苑内)
観覧無料・一部要事前申込 ※サムエル・コッキング入苑料が別途必要
詳細は公式HP: http://re-koten.com

ミュージカル・ワークショップ成果発表会

WS受講者のアイデアをもとに創作したショート・ミュージカル上演。
10月19日(日) 15:00開演 KAAT神奈川芸術劇場 大スタジオ
入場無料・要整理券 締切：9月30日(火)必着 応募者多数の場合抽選お申込み:昭和音楽大学オペラ研究所 ミュージカル・ワークショップ係
☎044-953-9858 http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/musicalws/
お問合せ(共通):文化課045-210-3808

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / アズビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 有限会社エス・イー・オー株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート / 株式会社オーチャー / 株式会社勝烈庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 神奈川県民共済生活協同組合 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社 神谷コーポレーション株式会社 / カヤシステム マシナリー株式会社 / 川本工業株式会社 / かり商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社キョウエイ装備 / 株式会社KSP / 株式会社合同通信 / コトブキシーティング株式会社 / 株式会社さが美株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ / 生活クラブ生活協同組合 / 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ / 月島機械株式会社株式会社テレビ神奈川 / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 株式会社日建設計 / 日産自動車株式会社 / 日成工事株式会社 / 日生商工株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニック ESエンジニアリング株式会社株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル・ニューグランド / 一般社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂株式会社豊商會 / 株式会社ユニコーン / 株式会社横浜アーチスト / 横浜エレベーター株式会社 / 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 横浜ビルシステム株式会社

永年個人賛助会員 江田眞子 / 川村恒明 個人賛助会員 大島正博 / 岡田博子 / 金子祐子 / 黒瀬博晴 / 本田正男 / 三角京子 / 三角秀行
協賛・協力 能舞台協賛 ナイス株式会社 協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎陽軒 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 株式会社東芝 神奈川支店 / 株式会社野毛印刷社 / 野村證券株式会社横浜支店 / 株式会社富士住建 三菱地所株式会社 (匿名：1社、1名)

(敬称略 2014年8月5日現在)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ：公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-3760



全演目制覇がオススメです。秋、神奈川県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場が華麗なる「舞の饗宴」の舞台に!

10月に開幕する神奈川国際芸術フェス。中でも思わず目が釘付けになるのは「バレエ、ダンス3演目の競演～饗宴(?)」だ。当代の身体表現を代表するトップ・ダンサー達がそれぞれの表現を極める舞台はクラシック、ネオ・クラシックからコンテンポラリーまで多彩。バレエ、ダンスファンのみならず、舞台ファンなら全制覇して「ダンスのいま」を体感したい。

そして豪華ゲスト、マラーホフが、日本初演の「イカロス」や、吉岡美佳との『白鳥の湖』を披露するなど、きらめく個性がちりばめられた宝石箱のような舞台だ。上野はかつてR.プティから直接手ほどきを受け、自身のターニングポイントとなった作品、「シャブリエ・ダンス」を新鋭・柄本弾、ボニーノと「チーク・トゥ・チーク」を踊る。ガラ定の定番『ドン・キホーテ』では、独自の解釈を試みるなど、バレエ人生を重ねた今だからこそ表現できる舞台にしたいと語る。

リアン、フォーサイス、ナハリンら現代を代表する巨匠から日本初紹介のガリーリまで、日本のための特別プログラム。必見はマルティネス振付『天井桟敷の人々』。13年バリ・オペラ座来日公演で全席完売、観客総立ちの伝説作を本公演用特別改訂バージョンに。ダンサーの身体と交錯するマルティネスの冴えわたる知性。舞台ファンなら見逃さない。

DEDICATED 2014 OTHERS

首藤康之が「ダンスを通して自分の思いを捧げること」を意識し、2011年より開催してきたシリーズ第3弾。今回は「OTHERS(他者)」をテーマに2作品を同時上演する。J.P.サルトルの有名戯曲をモチーフにした新作『出口なし』は、首藤と中村恩恵の2人のダンサーに女優のりょうを迎えた新たな挑戦。3人の登場人物の関係性をKAATアーティストック・スーパバイザー、白井晃の構成・演出でスリリングに紡ぐ。『ジキル&ハイド』は2011年大スタジオで初演。小野寺修二の構成・演出初ソロ作品だった。緊密な構成と、首藤が一人の人間に潜む自己/他者の関係を演じたソロパフォーマンスが高く評価された。今回はホール版として再構成。2作を通じ「他者」と「自己」との関係問い直す意欲的な取り組みだ。



photo:Tadashi Okochi



photo:福里幸夫

上野水香からのメッセージ

私をはじめプロデュースするこの公演は、ゲストとしてウラジミール・マラーホフさん、ルイジ・ボニーノさんをお迎えし、東京バレエ団OBも含めてたくさんのダンサーに出演していただきます。お客様が心から楽しめる舞台にしたいと思います。

スペイン国立ダンスカンパニー

バリ・オペラ座のエトワールとして絶大な人気を誇った、ジョゼ・マルティネスが2011年より芸術監督を務めるスペイン国立ダンスカンパニーの待望の来日公演。クラシックからコンテンポラリーまで幅広い領域を体現できる強みをフルに活かし、一夜にして「今、ダンスを語るならこれ!」という名作を網羅し、5作品一挙上演する。キ



©Emilio Tenorio



Imagen: Diego Hurtado de Mendoza/Fernando Marcos

芸術監督 ジョゼ・マルティネスからのメッセージ

この3年間で芸術監督として築いてきたレパートリーを、日本のみなさまにご紹介できるのを楽しみにしています。バラエティに富んだ、新たなカンパニーの作品が、私自身にも、日本のみなさまにも、新しいダンス経験の始まりとなることを心から望んでいます。

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース DEDICATED 2014 OTHERS
 10/24(金)19:30 25(土)・26(日)15:00
 KAAT神奈川芸術劇場(ホール)
 演目:『ジキル&ハイド』
 構成・演出:小野寺修二 出演:首藤 康之
 「出口なし」
 構成・演出:白井晃 出演:首藤 康之、中村恩恵、りょう

神奈川県民ホール開館40周年記念 上野水香プロデュースバレエ
 ジュエルズ フロム ミズカ(Jewels from MIZUKA)
 11/29(土)15:00 神奈川県民ホール(大)
 出演:上野水香、ウラジミール・マラーホフ、ルイジ・ボニーノ ほか
 演目:ジムノペディ(振付:プティ)/『白鳥の湖』第2幕より(振付:イワーノフ)/イカロス(振付:シェルカウイ) *日本初演/シャルロ(振付:プティ)/『ジゼル』より(振付:コラーリ/ペロー)/『バリの炎』より(振付:ド・ドゥ(振付:ワイノネン)/『ドン・キホーテ』より(振付:プティバ) ほか新作など

スペイン国立ダンスカンパニー
 12/5(金)19:00 6日(土)15:00
 KAAT神奈川芸術劇場(ホール)
 演目:『墮ちた天使』(振付:キリアン)/『ヘルマン・シュメルマン』(振付:フォーサイス)/『マイナス16』(振付:ナハリン)/『天井桟敷の人々』より(振付:マルティネス)/『Sub』(振付:ガリーリ)

詳細 www.kanagawa-arts.or.jp/21kief/
 発売中 チケットかながわ ☎0570-015-415
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>



首藤康之からのメッセージ

『DEDICATED』シリーズでは、ダンスという同じ建物でも、入った事のない入口から入ってみる、というような事をしてみたい。違う入口から入った事で見える風景をお客さまと共に見つけていきたいです。

上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA(ジュエルズ フロム ミズカ)



photo:Kiyonori Hasegawa

いつかこの舞台でプロデュース公演を! 東京バレエ団プリンシパルの上野水香と開館40周年を迎える県民ホールの夢がまもなく実現する。上野が選んだダンサーによる名作バ・ド・ドゥや、高岸直樹、高橋竜太による新作、

創造を支える仕事人 ③

神奈川県立音楽堂 館長 伊藤 由貴子

第3回の仕事人は、2009年から音楽堂の館長を務める伊藤由貴子です。高校の合唱部で、大野和士氏の指揮で歌ったときの感動が、いまの仕事の原動力。だからこそ、若い世代には色々な体験、出会いをしてほしいと熱く語ります。

高校、大学と合唱を続け、音楽堂の舞台にも立ちました。その頃から、木のホールの優しく、かつクリアな響き、客席と舞台の一体感が素敵だなと思っていましたが、音楽堂で1日のほとんどの時間をここで過ごすようになったいま、ますますこの建物の美しさに魅了されています。ホール、ロビーやロビーの隅々まで「いれたいほど好きになる」感じます。このすばらしい空間を生かして何をすべきかが、企画の出発点です。

クラシック音楽に加えて、日本の伝統音楽の企画にも力を入れてきましたが、すべてにおいて私が大切に思っているのは「楽しいことをやろう!」ということ。

スキップしたくなるような楽しさ、うっとりするほどの美しさ、涙がにじむ感動……を多くの人たちと共有し、心を開いていただきたい。そのためにアットホームな雰囲気を作り、お客様が楽しんでもらう、と思うことは何でも積極的に取り入れていきたいと思っています。

もうひとつの柱がアウトリーチ。音楽への垣根を低くして、日常生活の隣に音楽があることの豊かさを次の世代に渡していくことが公共ホールの使命だと思っています。さらに「これは普及事業」「これは子ども向け」というようなジャンル分けをせず、すべての公演にそれぞれの要素を取り入れていきたいというのが願いです。雅楽公演に昨年初めて「体験コーナー」を取り入れてみたのも、その試みです。

歴史あるホールはどうしても視線が過去に向きがちですが、「生まれ変わって次につながる遺産」とするためにも、新しいことをどんどん取り入れていきたいと思っています。

もっと、
レビューボイス
近くに。

神奈川県立音楽堂では、イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)とアレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)によるデュオ・リサイタルを開催しました。演奏された曲目は、モーツァルト「ソナタイ長調」、シューベルト「幻想曲 ハ長調」、シューマン「3つのロマンス」、そしてブラームス「ソナタ第3番 二短調」。ふたりの美しい音色と絶妙のアンサンブルは、ご来場の多くのお客さまを魅了したようです。お客さまの感動の余韻をお届けします。

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ 11
「イザベル・ファウスト&アレクサンドル・メルニコフ
デュオ・リサイタル」

出演:イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)、アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)
6月27日(金) 神奈川県立音楽堂



撮影:青柳聡

「はじめてイザベル・ファウストさんのヴァイオリンに出逢いました。洗練されて美しい人柄が音楽に表われていて、幸せなひとときでした。3回もアンコールに応じてくださって、感謝申し上げます。」(70代女性)

「演奏の出来が期待通り、またはそれ以上のものであった。二人共、これまで別々の機会には演奏を聞いていたが共演が大変良かった。もっと多くの方が聞ければよいと思った。」(60代女性)

「変幻自在でありながら、こんな一体感のあるデュオを聴くのははじめてかもしれない。シューベルトのデリカシー、ブラームスの立体感はずっと素晴らしいです。」(50代男性)

「甘美に流れず確かな音楽を作り上げているモーツァルトにまず驚きました。表情豊かなシューベルト、心のゆれを表わすかのようなシューマンも絶品でした。もっとも好きなブラームスの4つの楽章の味わい深い演奏は、何といっても巧みなボウイングの成功技でしょう。または是非聴きたいですね。」(50代男性)

ザ・レジェンド・オブ・ジプシー・ブラス
「ファンファーレ・チョコリア」

世界最速!伝説のジプシーブラスバンドが、ルーマニアから来航。スペシャルゲストに「渋さ知らズ」の渡部真一が参戦。一夜限りのスペシャルマッチをお見逃しなく。

10月18日(土)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
S席4,000円
A席3,000円

※U24チケット、高校生以下割引、シルバー割引あり(詳細はHPかお問合せ)

出演:ファンファーレ・チョコリア
スペシャルゲスト:渡部真一(渋さ知らズオーケストラ)



女流義太夫 KAAT竹本駒之助公演 第三弾
「恨絞鞘」「無筆書置の段」

KAATならではの空間で聴く女流義太夫、待望のシリーズ第三弾!

10月26日(日)~27日(月)
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ
全席自由 4,000円
※U24チケット、高校生以下割引あり(詳細はHPかお問合せ)
出演:竹本駒之助、鶴澤津賀寿 他



7 Fingers
「TRACES(トレース)」

昨年好評を博した「LOFT」に続き第2弾!シルクを超えるアートサーカス、再び登場!

10月31日(金)~11月3日(月・祝)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
S席7,200円
A席5,200円
※U24チケット、高校生以下割引、シルバー割引あり(詳細はHPかお問合せ)



音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ12
ナタリー・シュトゥッツマン
コントラルト・リサイタル

深みのあるドラマティックな歌声が、木のホールを至福の喜びに包み込む。期待のフランス歌曲プログラム。

11月22日(土)
神奈川県立音楽堂
全席指定
一般5,000円
学生(24歳以下)3,000円

出演:ナタリー・シュトゥッツマン(コントラルト)、
インゲル・ゼーデルグレン(ピアノ)



白井晃演出
「ジャンヌ・ダルク」

初舞台・初主演の有村架純が、世界最強のヒロイン、ジャンヌ・ダルクに挑む!ジャンヌの運命を決めるフランス国王、シャルル7世に東山紀之!

11月23日(日・祝)~11月24日(月・休)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
S席11,000円 A席9,000円
B席6,000円
B席(イス付立見席)6,000円
出演:白井晃 脚本:中島かずき
音楽:三宅純 原案:佐藤賢一
出演:有村架純、東山紀之 他



もっと、
Information
アートに。

オルガン・ガラコンサート

日本を代表するオルガニストたちが開館40周年を祝う。オルガン音楽の神髄を聴く楽しみ。

【オルガン・ガラコンサート I】12月20日(土)
【オルガン・ガラコンサート II】2015年1月31日(土)
神奈川県立音楽堂・小ホール
一回券3,000円
学生(24歳以下)2,000円
通し券(12/20&1/31)5,500円
出演:【オルガン・ガラコンサート I】
廣野嗣雄、松居直美、今井奈緒子
【オルガン・ガラコンサート II】
三浦はつみ、近藤岳、野村由美子



チケットのお求めは

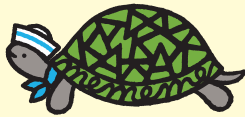
インターネットチケット予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 0570-015-415(電話10:00~18:00)

(県民ホール窓口 10:00~18:00 / 芸術劇場窓口10:00~18:00 / 音楽堂窓口13:00~17:00月曜)
(10/1~営業再開)

編集後記

- この号から編集長を担当いたします。創刊号の頃担当して以来、制作の現場をぐるっと20年旅し戻った編集部。アートの息吹を伝えられるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。(井)
- 「いれたいほど好きになる」という館長さんの素敵な言葉を聞いて、いいホールは人を元気に、クリエイティブにするのだなと感じました。祝・音楽堂還暦!記念週間。(あ)
- 豪雨の時のこと。ある川を眺めていたら亀が次から次へと5匹も流れてきた。濁流に飲み込まれないか心配していたら小さな窪みに全匹逃げ込んだ。避難所決めてた?生きる知恵?すごいな。(ゆ)



横浜開港資料館

☎045-201-2100 <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

通商条約締結150周年記念
「スイス使節団が見た幕末の日本—
カスパー・ブレンワルド日記を中心に」
開催中～10月19日(日)



カスパー・ブレンワルドの日記 DKSH社所蔵

使節団の一員として来日したブレンワルドの日記を題材に、条約締結交渉の様子や日本の政治情勢を紹介します。
開館時間: 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館: 月曜日(祝日の場合は翌日)ほか
入館料: 一般200円、小中学生100円

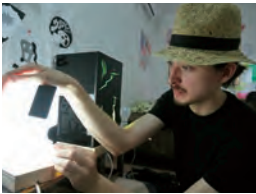
黄金町バザール

☎045-261-5467
<http://www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2014/>

「仮想のコミュニティ・アジア—
黄金町バザール2014」

開催中～11月3日(月・祝)
アーティスト・イン・レジデンス型のアートフェスティバルとして展開してきた「黄金町バザール」。7回目の今年は、ヨコハマトリエンナーレとの併催年3回目となり、アジア9都市のアート機関との協働で国際美術展を開催中です。

休場日:
毎月第1・3木曜日
時間:
11:00～19:00
入場料:
フリーパス700円
(中学生以下無料)
ヨコハマトリエンナーレ
2014との連携セット券あり



参加アーティスト ウォルター・スコット(カナダ) Photo: Yasuyuki Kasagi

KAAT神奈川芸術劇場

☎0570-015-415(チケットかながわ)
<http://www.kaat.jp/>

森山威男JAZZ Night 2014

10月4日(土)
山下トリオを皮切りに、自身のバンドをはじめ数々の輝かしい活動で世界的ドラマーとして知られる森山威男がKAATに登場! スペシャルゲストに板橋文夫(P)を迎えた総勢10名のビッグバンド編成! 迫力の一夜をご堪能下さい。



森山威男



(横浜市在住カメラマン)

森日出夫さんの写真でめぐる

横浜情景

横浜開港資料館に隣接する開港広場は、日米和親条約締結の地として知られています。海岸通りと大横橋通りがまじわるこの交差点は、1929(昭和4)年建築の横浜貿易会館など、歴史的な建造物が集まった「横浜の歴史の三角州」のような場所。遠方中央に見えるのが、クイーンズの塔(横浜税関)です。洋風な雰囲気が好きでよく撮影におとずれますが、そのたび「横浜の歴史がここから始まった」ことを感じます。地球儀の形をした「日米和親条約調印の地」碑が、広場の片隅で、ひっそり歴史の移り変わりを見守っているようです。

MAGCUL.NET 神奈川県発、文化発信ポータルサイト、マグカルドット ネット

神奈川芸術プレスはここに 있습니다。 PRESS IS HERE

Kame KANAGAWA members 登録無料! メルマガ定期配信

神奈川県民ホール開館40周年 神奈川県立音楽堂開館60周年 記念

第21回 神奈川国際芸術フェスティバル 祝祭 円熟の未来へ

神奈川県民ホール

10月5日(日) マラー:交響曲第8番「千人の交響曲」
11月29日(土) 上野水香プロデュースパレエ「Jewels from MIZUKA」

神奈川県立音楽堂

11月3日(月・祝) 音楽堂で聴く聲明
11月4日(火) 大野和士のオペラ・レクチャーコンサート
11月5日(水) 音楽堂建築見学会特別編
11月9日(日) 60周年記念オーケストラ・コンサート
11月22日(土) ナタリー・シュトゥツマン
コントラルト・リサイタル

KAAT神奈川芸術劇場

10月11日(土)～13日(月・祝) 悪魔のしるし×KAAT 「わが父、ジャコモッティ」
10月24日(金)～26日(日) DEDICATED 2014 OTHERS
10月26日(日)～27日(月) KAAT×竹本駒之助公演
10月31日(金)～11月3日(月・祝) 7 Fingers(セブン・フィンガーズ) 「TRACES(トレイシス)」
11月23日(日・祝)～24日(月・休) 白井真演出「ジャンヌ・ダルク」
12月5日(金)～6日(土) スペイン国立ダンスカンパニー

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/21kiaf/>

主催 神奈川県民ホール KAAT 神奈川芸術劇場 神奈川県立音楽堂 (公益財団法人神奈川芸術文化財団)

Vol.120(通巻124号)2014年9月15日発行(寄附月15日発行) TEL:045-683-3760 FAX:045-663-3714 発行:神奈川県民ホール(指定管理者:公財)神奈川芸術文化財団 企画:制作(公財)神奈川芸術文化財団(株)ニュー・コミュニケーションズ(株) 編集:神奈川芸術文化財団